



第1号

## 2021年度賃金引き上げ等 第1回交渉 趣旨説明を行う!

組合

- ・会社の経営状況、業績予想の下方修正などの厳しい現実を受け止め、コロナ禍で大きく変化する情勢を踏まえ、事業継続と雇用の維持を最優先に、今後の事業運営について労使がより建設的に議論を積み上げていくことが重要。
- ・「雇用の確保」については最優先事項として認識一致を図るべきだ。
- ・コロナ禍や災害が激甚化する中においても、「変革のスピードアップ」に向き合い、日々の奮闘によって利益を生み出している。
- ・「物価上昇」「生活向上」の観点と、私たちの高まる労働力の価値を評価し「十分な人への投資」を行うべき。
- ・2025年度営業収益3兆円超の目標実現には、グループ会社の役割が一層増していく。
- ・ウィズコロナ・ポストコロナ社会に対応し、持続的な成長と会社の発展を実現するには、人材確保・定着、技術継承・人材育成を労使の共通認識とし、職場の「雇用確保」「定昇確保（昇給係数4）」を求める強い声と「実質賃金の向上」を求める切実な声を受け止め、今こそ「人への積極的な投資」を行うべきだ。
- ・コロナ禍を乗り越え、企業を発展させるために、働く側の「エンゲージメントの向上」、組合員一人ひとりのモチベーションを高めていくことが必須であり、そのことがこの難局を乗り越えていくことに結実していくと考える。
- ・この間の、組合員と支える家族の現実と奮闘を受け止めて**満額回答すべきだ!**



職場の声が届いています!  
共にたたかきましょう!

会社

- ・社員にはコロナ禍での安全確保と福島県沖地震に対する早期復旧に尽力いただき感謝する。
- ・令和2年度第3四半期決算は新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受け、通期の営業利益は5080億円の赤字。会社発足初めてのことで極めて厳しい状況である。
- ・新型コロナウイルスの拡大の影響により、インバウンドも回復が見通せない。ワクチンが広く普及するまで時間が掛かるが、収束に向けた動きと期待したい。
- ・不可逆的な社会構造の変化により、テレワーク、eコマースなど、人の移動を伴わない働き方、暮らし方が急速に普及し、そして人々の行動や価値観変容は、当社グループを取り巻く経営環境を大きくかつ、急速に変化させ、鉄道のお客さまは以前には戻らない。
- ・変革2027の実現に向けた取り組みのレベルアップとスピードアップをしていくことで、サステナブルに社会変化に貢献する企業グループを目指していかなければならない。
- ・社員一人ひとりが主人公となり、これまでの延長線では生き残ることすら容易ではないという健全な危機感を持ち、変化を先取りして、人を起点とした価値・サービスを創造していくことが不可欠であると考えている。
- ・コントロールが難しい固定費の割合が大きい特性を踏まえ、より徹底したコスト管理を行う必要があり、抜本的な構造改革で経営の安定を向上させていかなければならない。
- ・基準内賃金の引き上げについては、長期にわたり総額人件費に多大な影響を及ぼすため、足元の状況を踏まえつつ、中長期的な動向等を慎重に勘案して議論する必要がある。
- ・賃金水準の引き上げは極めて慎重に判断をしなければならぬ状況にあると認識している。
- ・貴側の要求項目を総合的に勘案しながら判断する必要がある。早期合意を念頭にスケジュール感を持ちながら、真摯かつ精力的に議論を進めたい。

会社の持続的な発展のためにも「人への積極的な投資」を行うべきだ!